

北海道新幹線開業による 青函地域経済への波及効果等と課題

平成28年5月27日
株式会社青森銀行

目次

1. 北海道新幹線開業に向けた取組み

- ①青函活性化ファンドの実行
- ②北海道新幹線開業ボランティア活動
- ③青函地域への誘客対策
- ④その他の取組みについて

2. 青函活性化における課題について

3. 青函活性化における課題への対応について

1. 北海道新幹線開業に向けた取組み(1)

①青函活性化ファンドの実行

【第2号案件の概要】

青森県八戸市の(株)吉田屋に投資しました。本投資は、新函館北斗駅構内の弁当カフェ「BENTO CAFE 41° GARDEN(弁当カフェ ヨンイチガーデン)」新設のための工事等設備資金に充当しました。

(株)吉田屋は、八戸近海のサバと紅鮭を使った「八戸小唄寿司」をはじめ、約40種類の駅弁を製造・販売しており、全国駅弁大会では2015年、2016年と2年連続金賞を受賞した全国的にも知名度の高い企業です。今回の北海道新幹線新函館北斗駅の出店に伴い、青森県と北海道産の地域資源をふんだんに使ったメニューの開発を行っております。また、同社の創業者は北斗市(旧大野町)出身であり、今般の出店は、創業者ゆかりの地での新規事業展開となったことから、青函連携の象徴的案件として投資決定に至りました。

【今後の効果について】

本件により、青森県と北海道の素晴らしい素材が、(株)吉田屋により更なる魅力ある商品となり、その商品を国内外からの観光客やビジネス客に、満足し喜んでいただくことにより、(株)吉田屋の成長のみならず、青函地域の発展やイメージアップにつながることを期待しております。

【投資内容】

投資方法	普通社債
投資額	2千万円
投資期間	4年

【平成28年3月26日当日の様子】
新函館北斗駅構内「BENTO CAFE 41° GARDEN」
当日は約700個の弁当が完売しました。



1. 北海道新幹線開業に向けた取組み(2)

②北海道新幹線開業ボランティア活動

3月26日(土)、北海道新幹線開業をお祝いするために、当行では北海道新幹線沿線各地でボランティア活動を行いました。

【当行ボランティアの活動風景(新函館北斗駅)】



【当行ボランティアの活動風景(新青森駅)】



1. 北海道新幹線開業に向けた取組み(3)

③青函地域への誘客対策

「外国人観光客受け入れ対策セミナー」の開催

北海道新幹線開業や青森—中国・杭州および天津の国際線就航を前に、今後増加が期待される外国人観光客の受け入れ態勢を強化するために、平成28年3月9日(水)、観光関連事業者を対象とした〈あおぎん〉「外国人観光客受け入れ対策セミナー」を開催しました。

第一部では(株)MS&Consultingの周彦廷(シュウ ケンテイ)氏が「外国人観光客へのアプローチ方法について」と題して講演をしました。第二部では(株)JR東日本青森商業開発A-FACTORY運営グループの佐藤沙織氏が「免税店制度の概要と店舗運営のポイント」について、続く第三部ではあおぎんカードサービス(株)の阿部彰氏が「外国人観光客に対応した代金決済ツール」について解説をし、約70名の参加者が外国人観光客に対する接客や商品戦略・店舗運営に理解を深めました。

行員向け「中国語会話講座」の開催

北海道新幹線開業や青森—中国(杭州および天津)の国際定期便就航を控え、外国人訪問客の増加が期待される中、学校法人青森田中学園との地域活性化連携協定事業の一環として、平成28年3月9日(水)、青森中央学院大学の藤巻啓森教授を講師にお招きし、職員向けに自主参加型勉強会「中国語会話講座」を実施しました。

当日は、本部、青森市内店から24名の職員が参加し、中国語の発音や、同じ語彙でも日本語と中国語で意味が違う事例など初歩的な内容について学びました。

1. 北海道新幹線開業に向けた取組み(4)

④その他の取組み

「函館支店100周年記念〈あおぎん〉青函友好定期預金」

函館支店の開設100周年を記念して、平成27年4月1日(水)から金利上乗せ定期預金を発売しました。本商品は、平成27年9月末時点残高(36億円)の0.05%にあたる金額を当行から函館市へ寄付する商品となっており、平成28年5月上旬に約180万円贈呈しました。

「青函わくわく定期預金」

平成28年3月の新函館北斗駅開業に向け、金利上乗せ定期預金を発売しました。本商品は、北海道新幹線開業日(平成28年3月26日)までにご購入された方を対象に、抽選で50名様にびゅう商品券を贈呈しました。

平成27年度版「道南経済データブック」の発行(青森地域社会研究所作成)

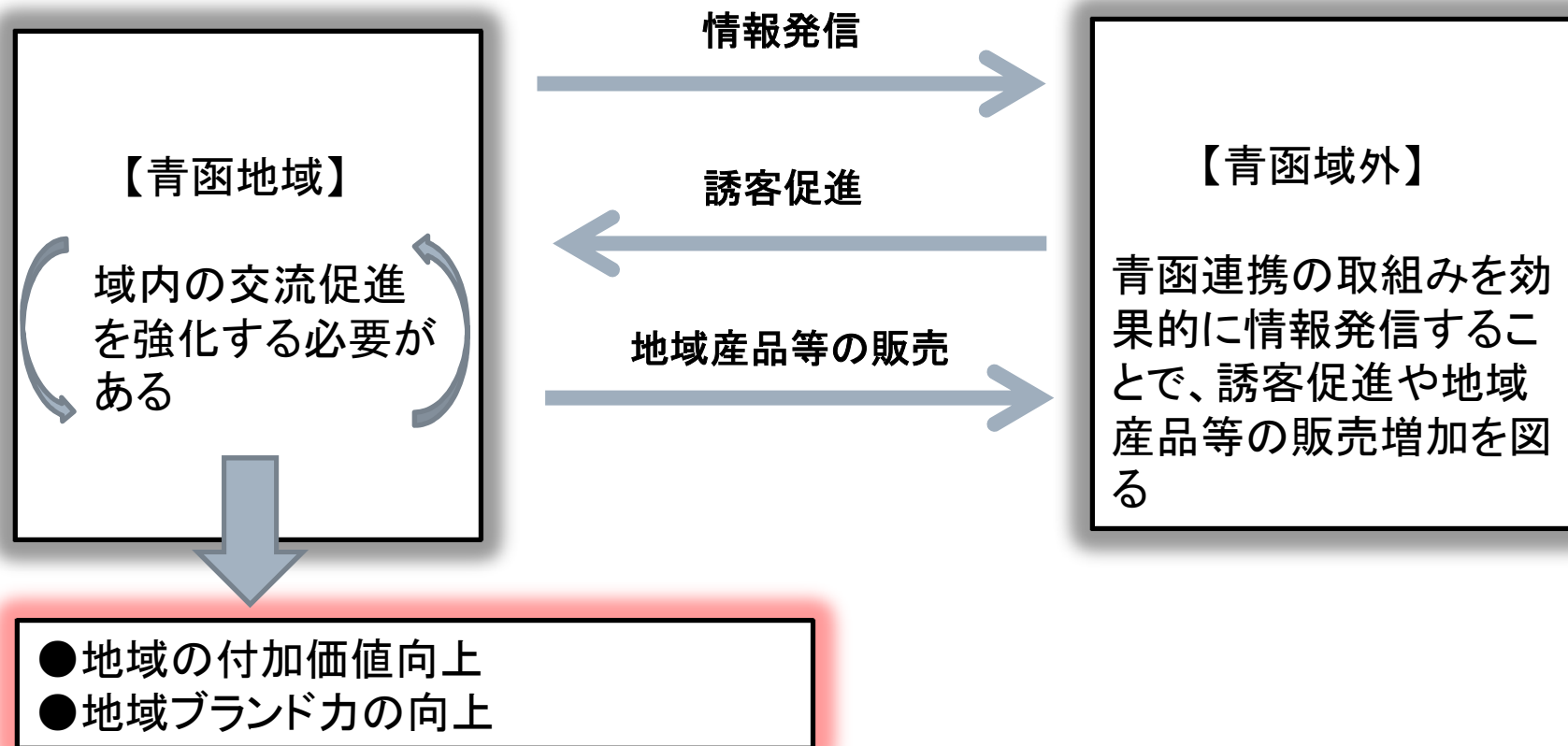
平成26年12月に刊行した「よくわかる道南の産業と経済」に収録した各種データを、平成28年に更新し、発行致しました。本書では、道南地域における産業・経済の実情を知るうえで必要と思われる各種データを収録し、青森県と比較して掲載しております。

「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京」への参画

平成28年2月に、北海道庁が主催する「北海道産品取引商談会」に併催した商談会が東京で開催され、北海道銀行及び東北10行が連携し、各行のお取引先が出展致しました。

2. 青函活性化における課題について

今後の青函地域活性化のためには、多様な主体の交流促進による連携強化と、域外に対して効果的に情報発信していくことが課題です。



3. 青函活性化における課題への対応について

前頁の課題解決に向け、下記のような事業を今後実施してまいります。

今後の青函交流促進事業

- 平成28年6月17日：北洋銀行連携「青函次世代経営者セミナー」
当行次世代経営者交流組織「あおぎん経営者懇談会」の会員が、北洋銀行主催の「道南次世代経営者セミナー」へ参加し、青函事業者の交流を図る。
- 平成28年8月：北洋銀行連携「青森県、北海道の女性リーダー交流会」
青森県隣県及び北海道の女性リーダーの活躍推進、交流を目的に『〈あおぎん〉ウーマン・リーダーズ・ネットワーク』会員と、『〈北洋銀行〉北洋女性ビジネスセミナー』会員との合同交流会を青森で開催予定。

今後の情報発信促進事業

- 平成28年6月3日：「食の事業者交流会」
新スーパーマーケット協会様ご協力の下、当行取引先の食に関する事業者様と、首都圏を中心とした食品メーカー経営者様との交流の場を提供し、青森県の食の魅力を首都圏企業へPRする。
- 平成28年7月1日～平成28年8月31日：北海道新幹線開業イベント「はこだ★テリア」への参画
青函DCキャン ペーン期間に合わせた上記2ヶ月間に渡り、函館駅前で地域の食を提供する。当行が青森県の魅力ある食を提供する事業者の出店を支援し、青森県の食をPRする。
- 平成28年7月21日：北洋銀行連携「ものづくりテクノフェア2016」
札幌で開催される「ものづくり企業」向け商談会。当行は今年度で4回目の特別協力として参画。青森県からは11社出店する予定。
- 平成28年9月1日、2日：北洋銀行連携「インフォメーションバザール in Tokyo 2016」東京で開催される「食」の商談会。鹿児島銀行が主催する南の逸品商談会と併催され、金融機関最大級の商談会。当行は今年で4回目の特別協力として参加予定。